

やまなし地域福祉フォーラム2025（冬） 開催要項

趣旨

「やまなし地域福祉フォーラム」は、県内の関係者が一堂に集まり、共通するテーマについての学びを深め、顔の見える関係づくりを進めることを目的としています。

今回の開催テーマは「かかわりしろ（世界）の広げかた」。各地で様々な実践をされているゲストを招き、それぞれの「かかわりしろ（世界）の広げかた」を学びながら、自分にできる「かかわりしろ」を見つける機会とします。

主 催 やまなし地域福祉応援官民連携プラットフォーム
(事務局 山梨県社会福祉協議会)

後 援 山梨県、山梨県社会福祉協議会、山梨県民生委員児童委員協議会、
山梨県社会福祉法人経営者協議会、山梨県ボランティア・NPO センター

日 時 令和8年1月23日（金）13時～16時30分

会 場 山梨県立図書館 多目的ホール／イベントスペース1・2

対 象 下記の関係者のほか、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

- (1) やまなし地域福祉応援官民連携プラットフォーム入会団体・個人
- (2) 社会福祉法人ならびに福祉関係事業者
- (3) 民生委員・児童委員
- (4) NPO 法人
- (5) ボランティア団体
- (6) 教育関係者（スクールソーシャルワーカー、社会教育関係者ほか）
- (7) 企業関係者
- (8) 学生
- (9) 行政ならびに社会福祉協議会


費 用 無料

申 込 別紙参加申込書を FAX にてお送りいただくか、右下 QR コード先フォームにてお申込みをお願いいたします。

申込締切：令和8年1月16日（金）

なお、申込期日に間に合わない場合は当日受付も可能です。

内 容

<p>○オープニング (13 時 00 分～13 時 10 分)</p>	<p>あいさつ・趣旨説明 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会</p>
<p>○インプットトーク (13 時 10 分～14 時 20 分)</p>	<p>「かかわりしろで“こどく”と“こりつ”を変える～みんなでなんとかしていく社会をつくる～」(仮題)</p> <div data-bbox="600 517 916 815">  </div> <p>一般社団法人えんがお 代表理事 濱野 将行さん</p> <p>「誰もが人との繋がりを感じられる社会」＝「ゆるやかに繋がる誰かと、みんなでなんとかしていく社会」を目指し、子どもから高齢者、そして障害の有無に関わらず全ての人が日常的に関わる「ごちゃまぜ」の力を生かして活動している「えんがお」。徒歩 2 分圏内にある 9 軒の空き家を活用し、世代や障がいの有無に関わらず全ての人が日常的に関わり支え合える「ごちゃまぜ」の地域コミュニティを構築しています。</p> <p>今回はそうした「ごちゃまぜ」の取り組みから生まれる“かかわりしろ”が、どのように“こどく”と“こりつ”を変えていったのか、みんなでなんとかしていく社会をつくるためには何が必要なのか、実践の中での気づきやヒントを伺っていきます。</p> <p>【略歴】 栃木県矢板市出身、作業療法士。地域で活動していく中で、「高齢者の孤立」という現実直面。一生懸命生きた人生の最期が孤立なら、若者は未来に希望を抱けない、との想いのもと、孤立の予防と解消を目指し 2017 年 5 月「一般社団法人えんがお」を設立。その後、孤立は全世代の課題であり、多くの社会課題の根源であることを現場で学び、全世代が日常的につながり、共に支援し合う地域コミュニティを目指す。現在、年間延 1200 人以上の若者を巻き込みながら、徒歩 2 分圏内に 9 軒の空き家を活用し、高齢者サロンや学童保育、フリースクール（不登校支援）・地域食堂・シェアハウス・障害者向けグループホーム、放課後等デイサービスなどを運営。子供から高齢者まで、そして障がいの有無に関わらずすべての人が日常的に関われる「ごちゃまぜの地域づくり」を行っている。著書に「ごちゃまぜで社会は変えられるー地域づくりとビジネスの話」「居場所づくりから始める、ごちゃまぜで社会課題を解決するための不完全な挑戦の事例集」など。</p>
<p>休憩</p>	

<p>○参加者交流&テーマ別 トークセッション (14時30分～16時30分)</p>	<p>各テーマの参加者同士での名刺交換・交流の時間を設けた後、 トークセッションを行います。</p> <p>【テーマ1】</p> <p>「“楽しい”から始まるかかわりしろを考える」</p> <p>互いのつながりが生まれるためには、その間にある“かかわりしろ”が重なり合うことが必要であり、今、そうした重なり合いを生み出すための媒介となる“人”や“環境”を創り出していくことが重要となっています。人それぞれの違いを認め合い、面白がり合いながら、包摂的な社会をつくっていくためには、違いや課題ばかりに目を向けるのではなく、その課題を含めて“ともに楽しむ”といった視点がキーポイントになるのではないのでしょうか？テーマ1ではそうした「楽しむ」という観点を大切に活動に取り組まれている方々とともに、これからの地域におけるひとりひとりのかかわりしろの広げ方について考えていきます。</p> <p>コーディネーター： やまなし地域支え合いプロジェクト アドバイザー 保坂 和輝 さん</p> <p>コメンテーター： 一般社団法人えんがお 代表理事 濱野 将行さん</p> <p>パネリスト： ・子どもの居場所ゆこか 代表 中島 実美 さん ・ボードゲームスペースあめかえる 発達障害のつどいはれまぐろ 雨宮 正直 さん ・OTOWABASE コミュニティマネージャー 中川 優子さん</p> <p>【テーマ2】</p> <p>「“働きたい”を支えるかかわりしろ（地域連携）を考える」</p> <p>障害や心身の不調、長期間就労の経験がないなど“働きづらさ”を抱えており、すぐに就労することが難しい方に、就労の体験や訓練など一定の配慮と支援により環境を整え、就労に向けてのステップアップを促進する「福祉的就労」や「中間的就労」という取り組みが行われています。人手不足が深刻化する中、誰もが活躍できる社会づくりをすすめ、地域の産業を支えていくためには、地域連携による柔軟な就労に向けた支援</p>
---	--

	<p>の仕組みをより一層広げていくことが重要です。テーマ2では静岡県において地域連携による就労に向けた支援に取り組まれている「富士市ユニバーサル就労支援センター」からその取り組みを学ぶとともに、県内の就労支援関係団体とともに就労支援におけるこれからのかかわりしろ（地域連携）について考えます。</p> <p>コーディネーター： NPO 法人 山梨県キャリアコンサルティング協会（やまなし若者サポートステーション） 長谷川 和信 さん</p> <p>パネリスト： ・富士市ユニバーサル就労支援センター 自立就労支援チーム 三好 泰枝 さん、向笠 弘之 さん ・ひきこもり・生活困窮者等就労支援ネットワーク 平原 由梨子さん（株式会社 KEIPE） ・株式会社タスクマスター 山崎 洋之 さん、佐藤 真琴さん</p> <p>【テーマ3】</p> <p>「“災害時も支え合う”かかわりしろを考える」</p> <p>近年避難所以外の在宅避難や車中泊など避難生活先が多様化しており、特に乳幼児や障がい児者がいる家庭では、周囲への遠慮から、一般避難所以外での避難生活を送っている現状があります。災害時に誰一人取り残さず地域で支え合う力を高めていくためには、平時からどのようなサポートや環境があれば支えることができるのかを考えるためのかかわりしろ（災害福祉教育）が重要です。テーマ3では、個人・団体・企業の枠を超えて取り組みを進めている方々とともに、災害時も支え合えるかかわりしろづくりについて考えます。</p> <p>コーディネーター： 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 事務局次長 鈴木 勝利さん</p> <p>パネリスト： ・療育に特化した親子遊びサークルなーさんのひきだし 永井 由香 さん ・トヨタカローラ山梨株式会社 大森 亜紀人 さん ・公益財団法人山梨県栄養士会 JDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム山梨県支部）会長 平井 美樹夫 さん</p>
	<p>閉会（16 時 30 分）</p>

問合せ先 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室（担当：矢巻）
TEL 055-254-8696 FAX 055-254-8614 MAIL chiikipj@y-fukushi.or.jp

[illegible]

送付先⇒FAX 055-254-8614（県社協コミュニティ再生推進室）行

やまなし地域福祉フォーラム2025 冬

参加申込書

所属 (団体名または会社名)	
所属種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> ボランティア団体 <input type="checkbox"/> 教育関係 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> その他 ()
所属地域	<input type="checkbox"/> 峡北 <input type="checkbox"/> 峡中 <input type="checkbox"/> 峡南 <input type="checkbox"/> 峡東 <input type="checkbox"/> 東部 <input type="checkbox"/> 富士五湖
参加者氏名	
参加者連絡先 (日中連絡可能なもの)	
メールアドレス	
参加にあたっての配慮の有無とその内容 (車椅子利用等)	

申込期限：令和8年1月16日（金）まで